

第350回定例会一般質問発言通告一覧

(第4日・3月7日 代表質問)

13番 長谷川 美樹 <一問一答>

- 1 削減型財政のあり方について
 - (1) 市民税の減少傾向について。
 - (2) 内閣府調査「出産をためらう理由」と三田市との対比について。
 - (3) 市民向け予算や人件費削減の予算と展望について。
 - (4) 市内経済の循環を活発化させ、市税収を増やす方法について。
- 2 子ども医療費の中学校卒業までの完全無料化の復活を求めることについて
 - (1) 完全無料化を実施した3年の総括について。
 - (2) 完全無料化を3年で中断したことでの市民の受け止めについて。
 - (3) 完全無料化へ戻すことで、若い世代へのメッセージと行政への信頼を取り戻すことについて。
- 3 学校統廃合再編計画のいったん白紙を求めることについて
 - (1) 三田市立学校園のあり方審議会答申と総合教育会議で、4中学校の統廃合再編計画結論をどのように導き出したかについて。
 - (2) 三田市のこれまでの小規模校での教育成果の評価について。
 - (3) クラス替えができない少人数学級では、人間関係が固定化し問題解決が困難としていること、また免許外指導の実態とその解決方法についての見解を問う。
 - (4) 地域と学校の関係など、地域づくりと教育の位置づけについて。
 - (5) 「地域協議会」の立ち上げと、市民の合意について。
 - (6) 学校統廃合再編計画のいったん白紙を求めることについて。
- 4 三田市民病院は現在の場所で市直営の運営で公立病院の役割を果たすことについて
 - (1) キャッシュ(現金)の経年の推移と今後について。
 - (2) 建設費の返済(毎年約8.5億円)と一般会計からの支援について。
 - (3) 医師確保のための大規模化規模の根拠と見通し及び新病院建設費について。
 - (4) 病院経営改善のためとしての高度急性期病床割合の増と医療のあり方について。
 - (5) 市民病院の継続的な経営に関する審議会答申と改革プランとの関係、及び地域医療について。
 - (6) 済生会兵庫県病院との再編・診療内容について。
 - (7) 市民病院は、直営で現在の場所で存続と診療内容の充実を求めることについて。
- 5 国民健康保険税額の引き下げを求めることについて
 - (1) 協会けんぽ等との比較で、国保税の市民負担が重い認識について。
 - (2) 全国知事会が「1兆円の国費投入で、国保税の抜本的な引き下げ」を求めていることについて。
 - (3) 市長が新しく重視しようとしている「子育て支援」の観点から、「均等割」負担の大幅引き下げと全国市長会も抜本見直しを求めていることについて。
 - (4) 国保特別会計への一般会計からの法定外繰り入れで市民負担を引き下げることについて。

17番 福田 秀章 <一問一答>

1 平成31年度予算について

(1) 平成31年度予算への市長の想いについて伺います。

2 障害者虐待事案を教訓とした対応について

(1) 三田市障害者虐待に係る対応検証委員会からの提言による対応について伺います。

3 三田市立学校再編計画について

(1) 市立中学校の統合への進め方について伺います。

4 地域のコミュニティづくりについて

(1) 地域コミュニティ懇話会と研究会の位置づけについて。

(2) まちづくり協議会と区・自治会の役割分担の方向性について。

(3) 区・自治会の活性化支援について。

5 高齢化対策について

(1) 孤立化防止による健康寿命の延伸について。

(2) 高齢者の住まいの確保について。

(3) 新たな認知症対策について。

(4) 介護保険制度の周知について。

6 三田市民病院の課題について

(1) 医師の多忙さ解消に向けた医師確保について。

(2) 看護師の多忙さ解消に向けた介護職の採用について。

(3) 慢性期型医療施設などの設置について。